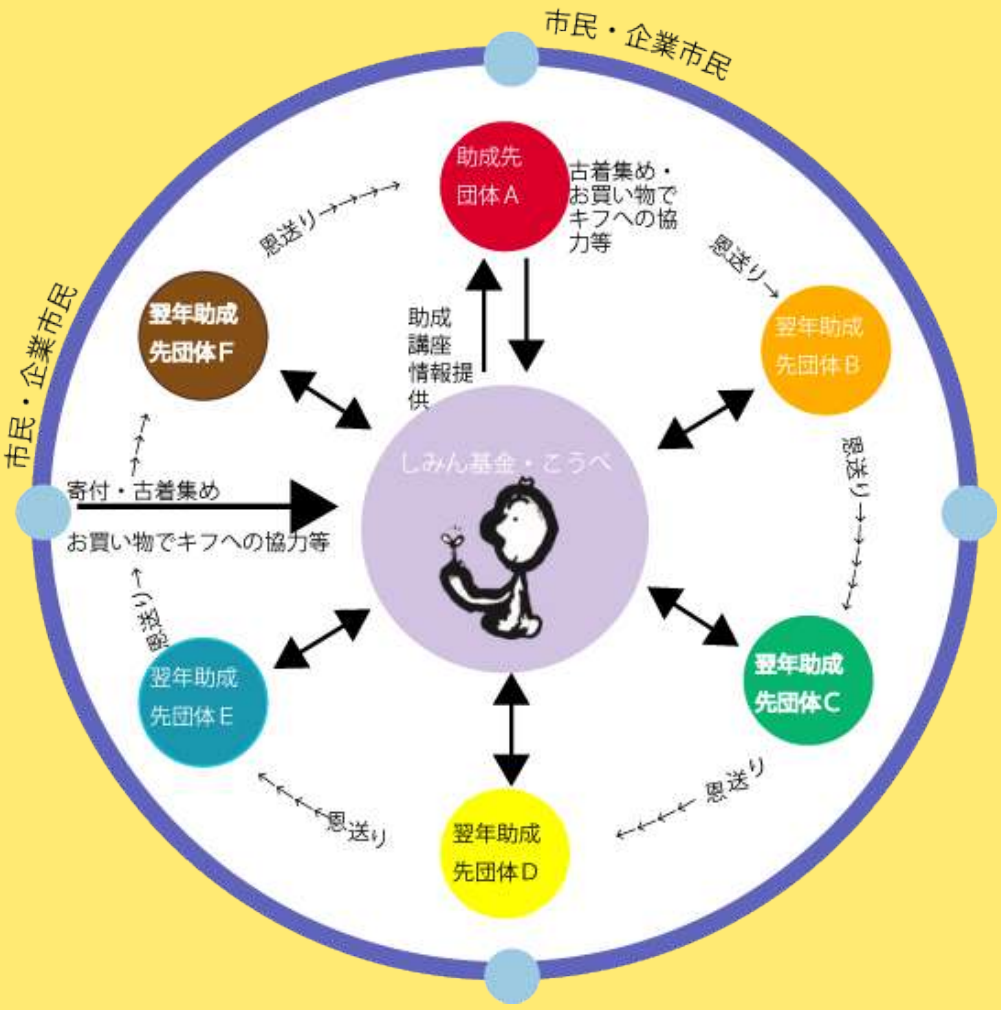
認定NPO法人しみん基金・こうべ
2021年度助成事業申込のしおり



おたがいさま基金をめざして

　共助・互助を社会化させる仕組みとして、当基金では助成を受けた団体が、次の助成原資をつくるために当基金へ古着/学術書チャリティ・お買い物でキフなどを通じて寄付をする恩送り形式を作りたいと考えています。（上記の図参照）

市民活動団体同士が資金的に助け合う、こうした「おたがいさま」の精神が当基金の助成事業の根本理念として根づくべく、みなさまとの協働作業のお手伝いをいたします。

申込締切日　8月31日（火）必着
公開審査会　10月26日（火）
助成金交付　11月 上旬（予定）

1．助成事業の趣旨

認定NPO法人しみん基金・こうべ（以下、当基金）は、地域を愛する多くの市民・団体・企業等が自発的に寄付という形で資金を提供しあうことで基金を形成し、市民活動団体に対して、開かれた自律的なルールによって助成金を拠出するコミュニティファンドとして、阪神・淡路大震災をきっかけに設立されました。2000年1 月4 日に兵庫県より認証を受け、2015年10月23日に神戸市から認定を受けた、認定NPO法人です。
拠出した助成金によって、市民活動団体による事業を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与したいと考えています。

当基金は阪神・淡路大震災で体感した支え合い、助け合いのすばらしさを大切に、地域に根ざし、次世代を担う若者と 手を携えながら、草の根の活動を広げ、「誰一人取り残さない」をモットーにしていきます。草の根活動とは、すなわち市民社会をつくる活動です。市民社会は、公共を、行政に頼るだけでなく、自律かつ自立した市民一人一人による自助と共助・互助で成していく社会であると考えています。

2．応募対象者

① 阪神・淡路大震災被災10市10町を原則に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
② 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
③ 団体としての継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力及び体制を備えた団体
④ 正味財産が2,000万円以下の団体

3．助成概要

2021年度助成事業は助成総額250万円を予定しています。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はありません。	大規模災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定します。
助成限度額等	一般枠の助成総額は200万円までを予定しています。	特定枠の助成総額は50万円までを予定しています。
	1事業について事業費総額の4分の3以内かつ、金50万円を上限とします。（但し1000円単位）	1事業について事業費総額の4分の3以内かつ、金25万円を上限とします。（但し1000円単位）
審査選考方法	書類審査を経て、ヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定します。（コロナ感染拡大状況による変更がある場合があります。）	

4． 助成事業の内容

Ⅰ．2020年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域での他団体・組織との連携の観点を重視する。
上記ＡＢの一方、もしくは両方をふまえた申請内容にしてください。

Ⅱ．助成対象期間：2021年10月1日から2022年9月30日までの１年間における事業を対象とします。

Ⅲ．選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記基本方針をふまえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性があると考えられるものを、優先します。

Ⅳ．助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）　※交際費は対象外です。

5．申し込み　別紙「助成申込書類についての注意事項」を必ずお読み下さい。

◆　必要な書類

①　助成金支給申請書：当基金所定の用紙に記入の上、押印して下さい。
②　団体概要書：当基金所定の用紙に記入して下さい。
③　事業計画書：当基金所定の用紙に記入して下さい。
④　事業収支予算書：当基金所定の様式に従って作成、調達方法・積算根拠を明確に記入して下さい。
⑤　添付書類
　ア)団体の定款または規約、及び役員名簿
　イ) 団体の活動の写真または団体の事業を紹介するパンフ・チラシ・新聞等の記事（無い場合は結構です。）
　ウ) 前年度の決算書類及び今年度の予算書
　（団体設立後、最初の決算を終えていない場合は予算書のみで結構です。）

※ 助成金を使用して10万円以上の物品の購入や修繕工事等に充てる場合は見積書等を添付して下さい。
※ 当基金所定の申請書類は、当基金のホームページからもダウンロード可能です。書式の記入例もホームページに掲載されていますのでご参照下さい。

◆　提出先

当基金事務局まで、郵送、持参、またはメール（PDFのみ）でご提出をお願い致します。（FAXは不可）

〒651-0095　神戸市中央区旭通1-1-1-203　　認定ＮＰＯ法人しみん基金・こうべ　　TEL(078)-230-9774
メール　　申請書ＰＤＦデータ提出先：josei@stylebuilt.co.jp
その他・お問い合わせ先：kikin@stylebuilt.co.jp

◆　受付期間

2021年7月19日（月）から　2021年8月31日（火）18：00まで（郵送は31日必着）

6．審査・選考の方法

受付終了後応募多数の場合は、当基金理事会にて書類審査を行います（9月中旬ころ）。その後、書類審査を通過した案件につきましては、選考の参考とするために活動現場に当基金の理事がお伺いしてヒアリング調査を行います。（9月下旬～10月上旬頃）最後に、申請団体のプレゼンテーションによる公開審査会で、第三者の審査員による厳正かつ公平な選考を行い、助成先及び助成金額を決定します。（コロナ感染拡大状況により変更する場合があります。）

※なお、公開審査会は2021年10月26日(火)13:00～17:00ごろを予定しております。ここに必ず出席することが、助成条件のひとつとなっています。詳細につきましては、後日ご案内いたします。

7．選考結果の通知

公開審査会で助成決定された案件に対し、11月上旬までに、書面にて通知いたします。

※ 応募多数で書類審査がある場合は、その結果を9月下旬頃までに通知いたします。
※ 通過・不通過の理由に関するお問い合わせには応じかねますので、ご了承下さい。

8．助成金の交付

助成が決定した団体に対しては、項目７の選考結果通知に同封して、所定の手続書類を郵送します。当基金との「助成金交付に関する覚書」（以下「覚書」）締結等の手続きが完了次第、銀行振込みにて助成金を交付いたします。

9．事業成果の報告

当基金の助成を受けた団体は、助成対象事業完了後速やかに、所定の様式により事業報告書を提出していただきます。（提出期限：2022年10月末日）合わせて、「事業成果報告会」（2022年12月頃開催予定）にて、助成事業の成果報告をしていただきます。

※なお、申請案件が全く実施されていないこと、途中で中止されたこと、また助成金の使途が申請案件以外であったり不明であることが判明した場合には、「覚書」に従って助成金の返還をお願いすることになりますので、あらかじめご了承下さい。

申請書類についての注意事項①

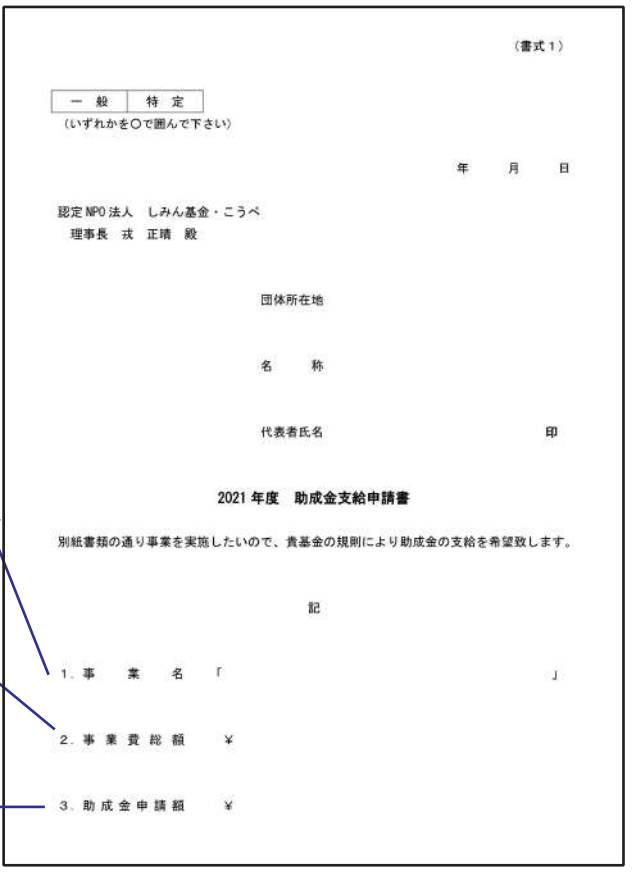
◆ 全般 ◆

1. 黒インクか黒ボールペン、あるいはパソコン等で記入して下さい。
2. 記入スペースが不足する場合は、適宜別紙を添付して下さい。
3. 申込に必要な全ての書類締め切りは、8月31日(火)必着です。
4. 提出していただいた書類は、結果の如何にかかわらず返却致しません。

30字以内で事業の内容がよくわかる名称をご記入下さい。

書式4の事業費総額と一致させて下さい。(但し1000円単位)

事業費総額の4分の3以内かつ50万円もしくは25万円以下の範囲内でご記入下さい。書式4の助成金申請額と一致させて下さい。(但し1000円単位)



(書式1)

一般　特定
(いずれかを○で囲んで下さい)

年　月　日

認定NPO法人　しみん基金・こうべ
理事長　戎　正晴　殿

団体所在地

名　称

代表者氏名　印

2021年度　助成金支給申請書

別紙書類の通り事業を実施したいので、貴基金の規則により助成金の支給を希望致します。

記

1. 事　業　名　「　」
2. 事業費総額　¥
3. 助成金申請額　¥

昼間連絡可能な番号が、上記電話番号欄記入のものと異なる場合はご記入下さい。

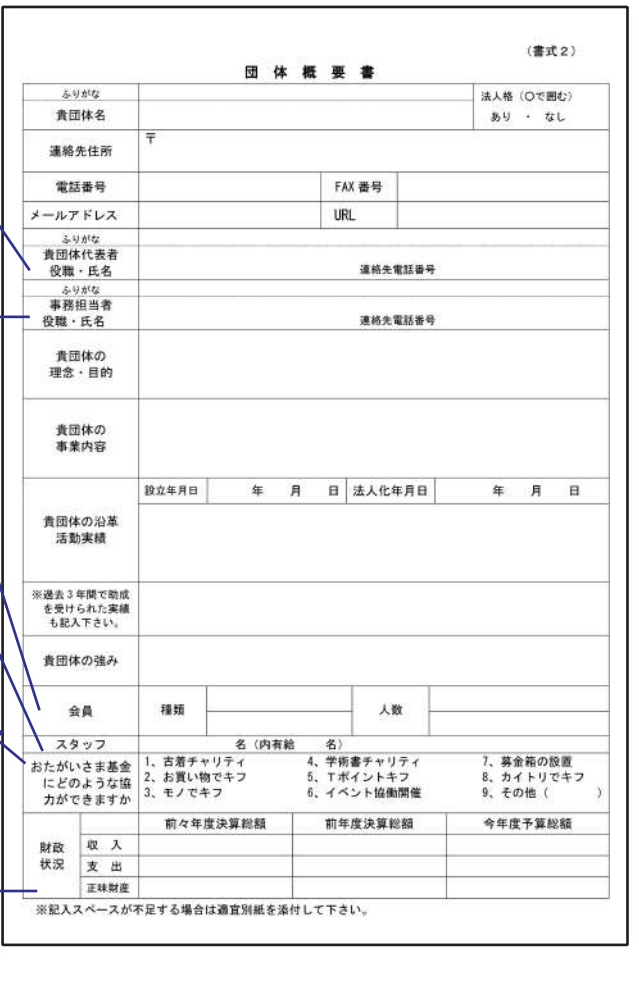
今回の助成申請で実際に窓口として担当される方のお名前をご記入下さい。昼間連絡可能な番号が、上記電話番号欄記入のものと異なる場合はご記入下さい。

正会員、賛助会員、利用会員など会員の種類があればその各々の人数と併せてご記入ください。

スタッフとは勤務時間／有償・無償に関わらず、直接、団体の運営・管理に常時関わっている方のことです。

おたがいさま基金への協力については、当基金ホームページ内の「参加のしかた」ページをご覧ください。

前々年度、前年度の決算、今年度予算計画及び正味財産(繰越金の累計)をご記入下さい。また、前年度の決算書類及び今年度予算書があれば添付して下さい。



(書式2)

団体概要書

ふりがな / 貴団体名			法人格(○で囲む) あり・なし
連絡先住所	〒		
電話番号		FAX番号	
メールアドレス		URL	
ふりがな / 貴団体代表者役職・氏名		連絡先電話番号	
ふりがな / 事務担当者役職・氏名		連絡先電話番号	
貴団体の理念・目的			
貴団体の事業内容			
貴団体の沿革活動実績	設立年月日　年　月　日	法人化年月日	年　月　日
※過去3年間で助成を受けられた実績も記入下さい。			
貴団体の強み			
会員	種類	人数	
スタッフ	名(内有給　名)		
おたがいさま基金にどのような協力ができますか	1、古着チャリティ 2、お買い物でキフ 3、モノでキフ 4、学術書チャリティ 5、Tポイントキフ 6、イベント協働開催 7、募金箱の設置 8、カイトリでキフ 9、その他(　)		

財政状況	前々年度決算総額	前年度決算総額	今年度予算総額
収入			
支出			
正味財産			

※記入スペースが不足する場合は適宜別紙を添付して下さい。

申請書類についての注意事項②

［団体名：　　］
（書式３－１）

事業計画書

事業名	
申請事業の主な分野	（注意事項②から選び、あてはまる記号を１つご記入ください。）
① 社会的課題の内容とその背景	
② 貴団体の組織内課題	
③ ①②に対して、どのような解決策で３～５年後にどのような状態を作りたいですか	①で書かれた社会課題に対して ②で書かれた組織内課題に対して
④ ③実現のために必要な、本申請事業における直接的成果は何ですか	
⑤ 今年度基本方針と本申請との関係性 （A, Bどちらか、もしくは両方にご記入ください。）	A．次代の市民活動の担い手育成を重視する。 B．地域での他団体・組織との連携の観点を重視する。

団体名をご記入ください。

申請事業の主な分野を下記から選んで記号を１つ書いてください。

A. 高齢者、障がい者支援　B. 保健、医療　C. 社会教育
D. まちづくり　E. 観光振興　F. 人権擁護、平和推進
G. 環境　H. 災害救援　I. 農村漁村、中山間地振興
J. 地域安全　K. 学術、文化、芸術、スポーツ振興
L. 国際協力、多文化共生　M. 経済活性化
N. 男女共同参画　O. 能力開発、雇用創出　P. 情報化
Q. 子育て支援、子どもの健全育成　R. 消費者保護
S. ＮＰＯ支援　T. その他

「しおり」２ページ目にある今年度の基本方針（「A．次代の市民活動の担い手育成を重視する。」「B．地域での他団体・組織との連携の観点を重視する」のいずれか、あるいは両方）と申請事業との関係性について簡潔に記入してください。
Aは貴団体の活動を継続・発展していける人材の育成を申請事業でどのように実施するのか、Bは申請事業を当該地域で、どのような団体・組織とどのように連携し実施していくのか、今後その連携をどのように維持・発展させていくのかなどを具体的にご記入ください。

［団体名：　　］
（書式３－２）

⑥ 事業の内容	項目／内容	目標の設定
⑦ 事業の対象と受益者の延べ人数		

⑧ 事業のスケジュール	月日	項目	実施場所	実施担当者

※記入スペースが不足する場合は適宜別紙を添付して下さい。

申請事業における具体的な活動項目・内容を箇条書きして、その目標設定を可能な限り数値化して記入してください。
（例）○○のための連続研修会の実施。
　目標：参加人数○○人

助成対象となる事業の具体的な活動項目を予定している日程順に並べて、それぞれに実施場所と実施担当者名を記入して下さい。日程は月単位や週単位等でも結構です。
活動項目が継続的に実施される場合は、例えば「○月～○月までの毎週末」と月日欄に記入して下さい。
物品購入の場合は、購入予定時期と物品を使用する場所を記入して下さい。
なお、特定枠で申請して被災地で事業を実施される場合は、現地でのパートナー団体名があれば記入して下さい。

申請書類についての注意事項③

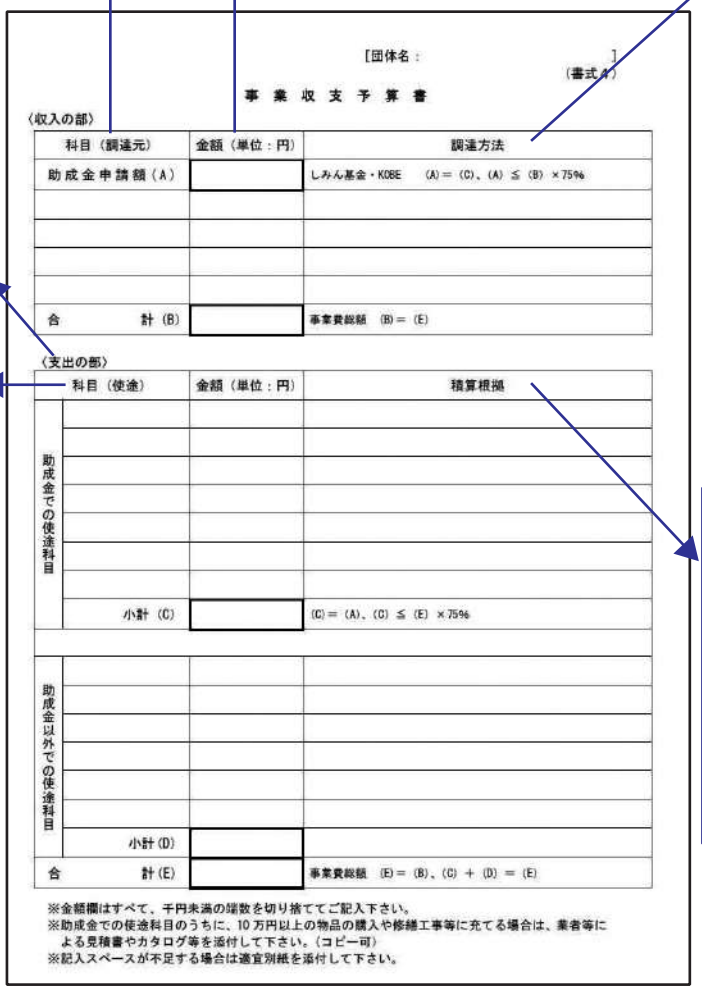
予定している資金の調達元を記入して下さい。
（例）会費収入、事業収入、自己資金など。なお、科目名については当ホームページに掲載している「書式４の科目設定に関する但書」をご参照下さい。

それぞれの科目ごとに金額を記入して下さい。千円未満の端数は切り捨てて下さい。

それぞれの科目ごとに具体的にご説明下さい。
また、事業計画書等との整合性にご留意下さい。
（例）会員 100 名 ×@3,000 円、参加費 @500 円 × 目標参加人数 30 名

「本助成金を充当する使途科目」と「本助成金以外の資金を充当する使途科目」とを分けて記入下さい。

必要な費用の使途を記入して下さい。
科目名については「しおり」2 ページ目及び当ホームページに掲載している「書式４の科目設定に関する但書」をご参照下さい。



［団体名：　　］
（書式A）

事業収支予算書

〈収入の部〉

科目（調達元）	金額（単位：円）	調達方法
助成金申請額（A）		しみん基金・KOBE　(A)＝(C)、(A) ≦ (B) ×75%
合　計（B）		事業費総額　(B)＝(E)

〈支出の部〉

	科目（使途）	金額（単位：円）	積算根拠
助成金での使途科目			
	小計（C）		(C)＝(A)、(C) ≦ (E) ×75%
助成金以外での使途科目			
	小計（D）		
合　計（E）			事業費総額　(E)＝(B)、(C) ＋ (D) ＝ (E)

※金額欄はすべて、千円未満の端数を切り捨ててご記入下さい。
※助成金での使途科目のうちに、10 万円以上の物品の購入や修繕工事等に充てる場合は、業者等による見積書やカタログ等を添付して下さい。（コピー可）
※記入スペースが不足する場合は適宜別紙を添付して下さい。

※他機関からの助成金・補助金等を計画または受領している（または予定の）場合は、必ず「他機関からの助成金等」という科目を立てて金額と申請先機関名を記入して下さい。

それぞれの科目ごとに具体的な用途と金額を算出した計算式（単価 × 数量）などを明確に記入して下さい。また、事業計画書等との整合性に留意下さい。
（例）賃借料：
@20,000 円 ×6 ヶ月

※ 助成金を使用して 10 万円以上の物品の購入や修繕工事等に充てる場合は、業者等による見積書やカタログ等を添付して下さい。（コピー可）

※ 科目名を「しおり」2 ページ目における例のような形態別分類によるものでなく、「車両関係費」のような機能別分類による科目名を設定していただいても結構です。
「助成金での使途科目」に掲げられる経費は 「しおり」2 ページ目に挙げているものに相当するものであることとします。

提出する前に、もう一度ご確認下さい！　※提出前に第三者にも確認してもらうことをお薦めします。

1. 記入もれ・押印もれはありませんか？
2. 「書式１の事業費総額」＝「書式４の合計」になっていますか？「書式１の助成金申請額」＝「書式４の助成金申請額」になっていますか？また助成金申請額は事業費総額の４分の３以内、かつ 1,000 円未満切り捨てになっていますか？
3. 書式 3-1、3-2、４の右上部に団体名を記入していますか？
4. 添付書類は揃っていますか？
5. 提出書類のコピーをお手元に保管されていますか？
6. データで提出される際は、全て PDF 化した状態でご提出ください。

個別相談会について

「個別相談会」は原則として、平日10:00～18:00の間で、1団体あたり1時間程度、当基金事務所において、事前予約優先で、個別のご相談を受付します。
特に初めて申請される団体につきましては、個別相談を受けることをお薦めします。

■　個別相談会：7月19日（月）～ 8月27日（金）（要事前予約）　■

しみん基金・KOBE特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。
今年度公開審査会にて発表された団体で惜しくも選考からもれた団体の中から1団体を当基金理事会が選考し、金５万円を授与します。

黒田裕子賞

この賞は、当基金前理事長である故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体または個人に対し授与されるものです。当基金理事会で毎年1団体または個人を選考し、金５万円を公開審査会時に贈呈いたします。

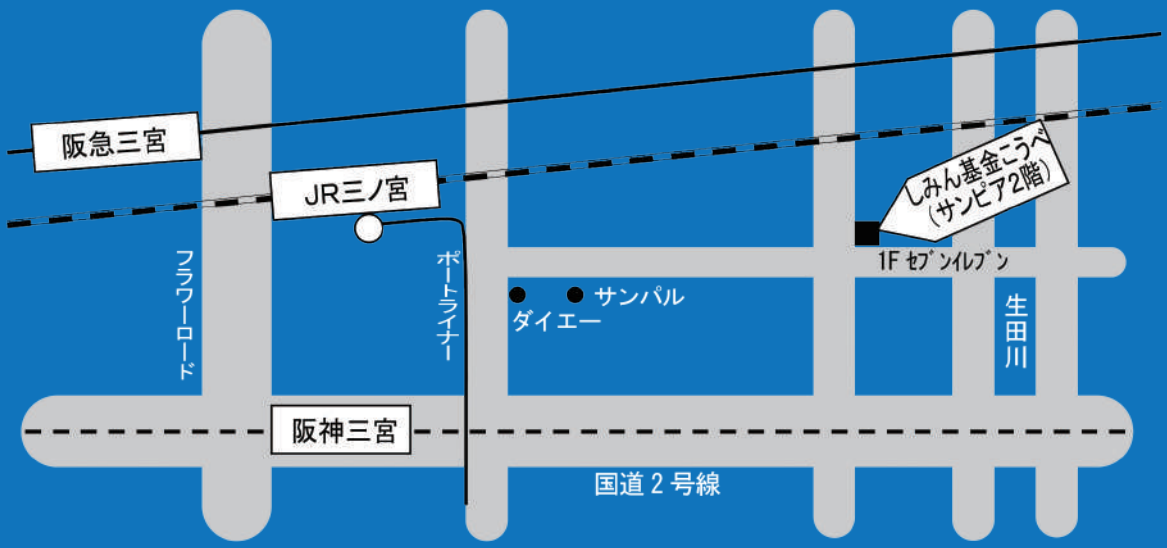
お申し込み・お問い合わせ・ご相談のご案内

助成の申し込み、助成事業に関するお問い合わせは下記事務局までご連絡お願いします。
また、申請書類等は当基金のホームページよりダウンロード可能です。
なお、申請内容等については、7ページのご案内のとおりの要領で、個別相談会を開催いたしますので、この機会もご活用下さい。

認定NPO法人　しみん基金・こうべ
http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/

〒651 - 0095　神戸市中央区旭通1 - 1 - 1 - 203
TEL (078) 230 - 9774　FAX (078) 230 - 9786
E-mail　kikin@stylebuilt.co.jp
受付時間　午前10:00 ～ 午後6:00 (月～金)
※定休日：土日祝

しみん基金　検索



JR三ノ宮駅より東へ約10分。生田川交差点手前山側。
セブンイレブンの北側の階段を上がって2階右手の通路を出てすぐ。